

日本比較政治学会 ニュースレター

Japan Association for Comparative Politics

No. 51 October 2023

-
1. 2023年度総会報告
 2. 理事会報告

3. 企画委員会からのお知らせ
 4. 事務局からのお知らせ
-

2023年度総会報告

2023年6月18日（日）13時より、山梨大学甲府キャンパスにおいて開催された。

開会宣言

・杉木明子常務理事より、2023年度総会の開会が宣言され、総会出席者は事前のオンライン調査によると、出席者が29名、委任状提出者が88名、合計117名であることが報告された。続いて、議長の選任が行われ、杉木常務理事より牧野久美子理事が推薦され、承認された。

会長挨拶

・粕谷祐子会長より、大会開催校をはじめ、関係各位に対して謝意が述べられた。また、1年前の会長就任にあたって掲げた「3つのK(事務局効率化、会員サービス向上、国際化)」の進捗状況について説明があり、事務局効率化と会員サービス向上は順調に進展しているものの、国際化については思うように進めることができていないとし、残りの任期の1年で具体的な成果を出していきたいと決意が示された。

【議 題】

1. 各種委員会報告

(1) 企画委員会

- ・近藤康史企画委員長より、共通論題、分科会ともに滞りなく進んでいることが報告された。

(2) 年報編集委員会

- ・稗田健志年報編集委員長より、年報25号の編集状況について、「危機と国家」というテーマの共通論題論文3本、投稿論文5本、計8本の構成で、出版社への入稿を終え、本年10月の刊行を予定していることが報告された。

(3) オンラインジャーナル編集委員会

- ・杉浦功一オンラインジャーナル編集委員長より、この1年間で5本の投稿があり、そのうち3本は掲載に至らず、残りの2本は現在、査読中であることが報告された。

(4) 渉外委員会

- ・杉木常務理事より、粒良麻知子渉外委員長からのメッセージが代読され、これまでに第26回研究大会のプログラム、案

内・要旨集、報告ペーパー、第 49 号および第 50 号のニュースレター、本学会に関する各種お知らせをウェブサイトに掲載したことが報告された。

(5) ニュースレター委員会

- ・ 杉木常務理事より、馬場香織ニュースレター委員長からのメッセージが代読され、第 49 号、第 50 号のニュースレターを刊行し、ウェブサイトに掲載したことが報告され、関係各位に謝意が示された。また、学術エッセーに関して、依頼方式から公募方式に変更して以降、未だに応募がないことが報告されるとともに、積極的な投稿が呼びかけられた。

(6) 研究大会開催校

- ・ 小松志朗開催校理事より、特に問題なく研究大会が進行していることに謝意が示され、6 月 17 日時点における参加人数は 142 名であり、その内訳は正会員が 120 名、非会員が 22 名であることが報告された。

2. 事務局報告

- ・ 杉木常務理事より、2023 年 6 月 18 日現在の会員数は理事会前から 3 名増えて 615 名となったことが報告された。

3. 2022 年度決算

(1) 2022 年度決算報告

- ・ 杉木常務理事より、決算報告があり、2022 年度の収入と支出の内訳について、それぞれ説明が行われた。続いて、中田瑞穂監事より、会計監査報告があり、

2023 年 4 月 8 日に松田憲忠監事とともにオンライン上で収支計算書、会費データ、領収書、口座残高などを確認し、会計が適切に処理されていることが確認されたと報告があった。

(2) 2022 年度決算承認

- ・ 牧野議長より承認が求められ、承認された。

4. 2023 年度予算

- ・ 杉木常務理事より、2023 年度の収入と支出の見積りがそれぞれ説明された。
- ・ 牧野議長より 2023 年度予算の承認が求められ、承認された。

5. 監事承認

- ・ 粕谷会長より、松田監事の任期満了に伴い、新たな監事として川中豪会員（亜細亜大学）が推薦され、承認された。

6. 各種委員長紹介

- ・ 粕谷会長より、年報編集委員長に近藤理事、企画委員長に外山文子理事、企画副委員長に中井遼理事がそれぞれ就任することが報告された。また、前回の理事会において立ち上げられた奨励賞対象受賞者の資格改訂検討ワーキンググループの委員長に稗田副会長、その他の委員に遠藤貢元会長、仙石学元副会長、外山理事が就いたことが報告された。年次大会開催の隔年オンライン化および会員サービスの検討ワーキンググループについては、委員長を粕谷会長とし、その他の委員として中井理事と牧野理事が紹介された。

7. 理事選挙オンライン化に伴う規約改訂について

- ・ 粕谷会長より、コロナ蔓延以降、オンラインで理事選挙を実施している現実に規約の文言を合せるとともに、理事選挙とその後開催される理事会との間隔をあけるため、理事選挙を前倒しして実施するための規約改定案が提案され、承認された。

8. 年次大会隔年オンライン開催について

- ・ 粕谷会長より、2025年の研究大会をオンライン開催とし、その後もオンラインでの研究大会を隔年で実施することが報告された。また、オンライン開催は技術的には十分に可能であるものの、それに伴うデメリットについては、年次大会開催の隔年オンライン化および会員サービスの検討ワーキンググループにおいて対処していくとした。

9. 学会奨励賞について

- ・ 奨励賞選考委員会の稗田副会長より、小川有美元会員を委員長とする奨励賞選考委員会において慎重に審議した結果、本年度は該当なしという結果になったことが報告された。

10. 2024年度研究大会の開催日程について

- ・ 粕谷会長より、2024年度研究大会は6月22、23日に立命館大学大阪いばらきキャンパスで開催する予定であることが報告された。また、開催校理事の宮脇昇会員より会場に関する説明が行われた。

(閉会宣言)

- ・ 杉木常務理事より、2023年度総会の閉会が宣言された。13時33分終了。

(事務局)

2022年度決算

自2022年 4月 1日
至2023年 3月31日

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
繰越金	¥ 15,764,193	2022年度大会開催費	¥ 372,040
2022年度会費収入	¥ 4,670,000	年報費	¥ 1,500,000
雑収入	¥ 23	理事会会議費	¥ 55,346
		オンラインジャーナル編集委員会費	¥ 20,000
		編集委員会費	¥ 20,000
		企画委員会費	¥ 20,000
		ホームページ維持費	¥ 7,731
		交通費	¥ 12,020
		事務局費	
		〔内訳〕 消耗品費	¥ -
		人件費	¥ 10,000
		通信費	¥ 23,887
		事務委託関係費	¥ 1,405,152
		奨励賞選考委員会費	¥ 35,115
		クレジットカード使用手数料	¥ 107,994
		繰越金	¥ 16,844,931
合計	¥ 20,434,216	合計	¥ 20,434,216

一般会計資産	
	金額
郵便振替口座	14,379,954
通常郵便貯金	2,448,826
現金	16,151
合計	16,844,931

会計監査の結果、上記の収支計算書は適正に表示されていることを認める。

2023 年 4 月 8 日

日本比較政治学会監事

松田 憲忠

中田 瑞穂

2023年度予算

自2023年 4月 1日
至2024年 3月31日

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
繰越金	¥ 16,844,931	2023年度大会開催費	¥ 700,000
2023年度会費収入	¥ 4,794,000	年報費	¥ 1,500,000
雑収入	¥ 25	理事会会議費	¥ 80,000
		編集委員会費	¥ 20,000
		オンラインジャーナル編集委員会費	¥ 20,000
		企画委員会費	¥ 20,000
		ホームページ維持費	¥ 10,000
		事務局費	¥ 100,000
		事務委託関係費	¥ 2,000,000
		クレジットカード使用手数料	¥ 80,000
		繰越金	¥ 17,108,956
合計	¥ 21,638,956	合計	¥ 21,638,956

理事会報告

第83回理事会議事録

日時：2023年4月22日（土）午後2時～午後3時

形式：Zoomによるオンライン開催

出席者：粕谷祐子、稗田健志、杉木明子、林
載桓、久保慶一、小松志朗、近藤康
史、杉浦功一、杉本竜也、立石洋子、
辻由希、外山文子、西岡晋、馬場香
織、ヒジノ・ケン・ビクターレオナ
ード、平松彩子、牧野久美子、宮脇
昇、山尾大

委任状：板橋拓己、伊藤武、粒良麻知子、中
井遼、東島雅昌、三浦まり

オブザーバー：松浦淳介

【報告事項】

1. 2023年度研究大会準備の進捗状況につ
いて

- ・ 近藤企画委員長より、今年度研究大会の
プログラム案が示され、本理事会終了後
に学会ウェブサイト上でプログラムを公
開することが報告された。また、小松開
催校理事からは、報告要旨集の作成や託
児所を含めた会場の確保など、研究大会
に向けた準備状況が報告された。

2. ニューズレター発行について

- ・ 馬場ニューズレター委員長より、本年 3
月に第 50 号が発行され、学会ウェブサイ
ト上で公開していることが報告され、関
係各位に謝意が示された。

3. 奨励賞受賞者推薦について

- ・ 稗田副会長より、2 件の論文が審査対象

となったものの、5 名の委員で慎重に審
議・検討した結果、今年度は受賞作なし
とする結論になったことが報告された。

4. クレジット決済サービスの無償化・手数
料減額について

- ・ 杉木常務理事より、昨年 12 月から学会費
のクレジット決済に関わるシステム利用
料が無償化され、決済手数料についても
減額されるようになったことが報告され
た。

5. 会員の異動について

- ・ 杉木常務理事より、本年 4 月 1 日時点に
おける会員数が 612 名であることが示さ
れたうえで、本理事会において新規に入
会が認められた者が 6 名、申請により退
会が認められた者が 6 名であったため、
本理事会終了時点における会員数は 612
名になることが報告された。

【審議事項】

1. 2022年度決算について

- ・ 杉木常務理事より、2022 年度決算案につ
いて説明がなされた。続いて、松田監事
から監査報告があり、同決算案は原案ど
おり承認された。

2. 2023年度予算案について

- ・ 杉木常務理事より、2023 年度予算案につ
いて説明があり、同予算案は原案どおり
承認された。

3. 会員の入退会について

- ・ 杉木常務理事より、6 名の入会申請者と 6 名の退会申請者が示され、いずれも承認された。それにより、本理事会終了時点における会員数は理事会前と同じ 612 名となった。

4. 日本学術会議との共催企画パネルの一般参加者の参加費無償化について

- ・ 粕谷会長より、今年度研究大会における日本学術会議との共催企画パネルに関して、日本学術会議の規定を踏まえ一般参加者の参加費を無料にするという提案があり、承認された。

5. 2023年度研究大会における託児所利用補助について

- ・ 粕谷会長より、今年度研究大会において、1 名の会員から託児所利用の応募があったことが報告され、託児所利用補助額について、本学会の内規では会員 1 名につき 1 万円が上限とされているが、それを 2 万円に引き上げることが提案され、承認された。

6. 2023年度研究大会における懇親会開催について

- ・ 小松開催校理事より、今年度研究大会における懇親会について、新型コロナウイルス感染症の感染動向が見通せないことから、飲食を伴う懇親会の開催は難しいという判断が示され、承認された。

7. 年次大会隔年オンライン化・会員サービス検討ワーキンググループ立ち上げについて

- ・ 粕谷会長より、年次大会の隔年オンライン化のメリットとデメリットが示されたうえで、2025 年度研究大会をオンライン開催とし、その後は対面とオンラインの大会を交互に開催することが提案され、承認された。また、隔年オンライン化によって生じる会員のデメリットに対応するため、会員サービス検討ワーキンググループを立ち上げることが提案され、承認された。同ワーキンググループの委員長には粕谷会長が就き、委員の選定については委員長に一任された。

8. 理事選挙オンライン化とスケジュール前倒しの規約改訂について

- ・ 粕谷会長より、理事選挙をオンライン化するための規約改定案が示され、承認された。また、本年 6 月の総会において本改定案を提案し、賛否を問うことも確認された。

9. 奨励賞受賞対象者の資格改訂検討ワーキンググループ立ち上げについて

- ・ 粕谷会長より、奨励賞受賞対象者の資格要件を見直すためのワーキンググループを立ち上げることが提案され、承認された。また、同ワーキンググループの委員長には稗田副会長が就き、委員の選定については委員長に一任された。

10. 次期監事選任について

- ・ 粕谷会長より、次期監事として川中豪会員（亜細亜大学）が推薦され、承認された。

1 1. 会計資料作成の委託について

- ・ 杉木常務理事より、現在中西印刷に委託している事務作業に関し、今年度から会計資料作成もあわせて委託する方針が示され、承認された。

【その他】

1. 次回理事会の日程について

- ・ 粕谷会長より、次回理事会について、山梨大学にて6月18日（日）の12時10分から対面とオンラインのハイブリット形式で開催することが提案され、承認された。

2. 2024年度研究大会の日程について

- ・ 粕谷会長より、2024年度研究大会について、立命館大学大阪いばらきキャンパスにて6月22日と23日に開催する予定であることが報告され、宮脇開催校理事から日程に関する説明が行われた。

以上

第84回理事会議事録

日時：2023年6月18日（日）12時10分～12時32分

形式：対面とZoomによるハイブリット開催（於、山梨大学甲府キャンパス）

出席者：粕谷祐子、稗田健志、伊藤武、林載桓、久保慶一、小松志朗、近藤康史、杉木明子、杉浦功一、杉本竜也、立石洋子、外山文子、中井遼、西岡晋、馬場香織、ヒジノ・ケン・ビクターレオナード、平松彩子、牧野久美子、三浦まり、宮脇昇、山尾大

委任状：板橋拓己、辻由希、粒良麻知子、東島雅昌

オブザーバー：松浦淳介

【報告事項】

1. 会員の異動について

- ・ 杉木常務理事より、2023年6月15日時点の会員数は612名であり、その内訳は、正会員が573名、院生会員が36名、海外正会員が3名であることが報告された。また、本理事会終了時点の会員数は3名増えて615名となることが示された。

2. 研究大会について

- ・ 小松開催校理事より、特に問題もなく研究大会が進行していることに謝意が示され、6月17日時点における参加人数は142名であり、その内訳は正会員が120名、非会員が22名であることが報告された。

3. 総会式次第について

- ・ 近藤企画委員長より、共通論題、分科会ともに問題なく終了していることが報告された。
- ・ 稗田年報編集委員長より、年報25号について、共通論題論文3本、投稿論文5本、計8本の構成で、5月末にミネルヴァ書房に入稿したことが報告され、本年10月の刊行を目指すとされた。
- ・ 杉浦オンラインジャーナル編集委員長より、この1年間で5本の投稿があり、2本が現在査読中で、残り3本のうち2本は掲載に至らず、1本は不掲載とされた論文が再度、投稿されたものであることが報告された。なお、学会の一般的な慣行

にならって、オンラインジャーナル編集委員会として、再投稿は受理しないことを決定し、今後、再投稿に関するルール作りを検討していることが説明された。

- ・ 杉木常務理事より、粒良渉外委員会からのメッセージが代読され、第26回研究大会のプログラム、案内・要旨集、報告ペーパー、第49号および第50号のニューズレター、本学会に関する各種お知らせをウェブサイトに掲載したことが報告された。
- ・ 馬場ニューズレター委員長より、第49号、第50号のニューズレターを刊行し、ホームページに掲載したことが報告され、関係各位に謝意が示された。また、学術エッセーに関して、依頼方式から公募方式に変更して以降、未だに応募がないことが報告された。
- ・ 最後に、来年度研究大会開催校の宮脇理事より、来年度の研究大会は2024年6月22、23日に立命館大学大阪いばらきキャンパスで開催する予定であることが報告された。

4. 奨励賞受賞対象者の資格改訂検討ワーキンググループの立ち上げについて

- ・ 稗田副会長より、ワーキンググループのメンバーとして、遠藤貢会員(東京大学)、仙石学会員(北海道大学)、外山理事があげられ、次回の理事会を目途に改定案を提示する方針が示された。

5. 年次大会開催の隔年オンライン化および会員サービス検討ワーキンググループの立ち上げについて

- ・ 粕谷会長より、ワーキンググループのメンバーとして、牧野理事と中井理事があげられ、次回の理事会に答申を提出する方針が示された。

【審議事項】

1. 新入会員の承認

- ・ 杉木常務理事より、2023年6月15日時点の会員数は612名であり、その内訳は、正会員が573名、院生会員が36名、海外正会員が3名であることが報告された。また、前回理事会からこれまでに入会を申し込んだ5名が紹介され、承認された。これにより、本理事会終了時点における会員数は、3名増えて615名となった。

2. 次年度企画委員長について

- ・ 次年度企画委員長の外山理事より、次期企画委員会の構成として、企画副委員長に中井理事(北九州市立大学)、企画委員に石黒大岳会員(アジア経済研究所)、磯田沙織会員(神田外語大学)、武藤祥会員(関西学院大学)、山根健至会員(福岡女子大学)、飯田健会員(同志社大学)が提案され、いずれも承認された。

その他

1. 次回理事会の日程について

- ・ 粕谷会長より、次回理事会について、2023年10月28日(土)の午後2時からオンラインで開催することが提案され、承認された。

2. 各分科会の参加人数の事前把握について

- ・ 近藤理事より、研究大会における各分科

会の参加人数を事前に把握するため、かつてははがきに参加希望の分科会を尋ねる欄が設けられていたことが紹介され、次回の研究大会に際しては、中西印刷にアンケートフォームの設定を依頼することとされた。

3. 事務局からのお願い

- ・ 杉木常務理事より、事務局から各理事にメールを送信した際、エラーが表示されることがあるため、事務局からのメールが届いていない場合はお知らせいただきたいとのお願いがあった。

以上

(事務局)

企画委員会からのお知らせ

2024年度研究大会（於立命館大学、6月22日（土）・23日（日）予定）

*開催場所および日程は2023年10月時点での予定です。今後変更もあり得ますのでご注意ください。

「自由企画」および「自由論題」の募集

1 「自由企画」の募集

自由企画は、報告・討論・司会をパッケージにしてご提案頂くものです。さまざまな共同研究の発表の場として、また自由な研究交流の場として、自由企画のご応募をお待ちしております。学会のますますの活性化のため、会員の皆様で企画をご相談の上、パネルとしてご応募ください。

2 「自由論題」の募集

自由論題は、単独でご報告される会員のための発表の場です。若手会員の方はもちろん、中堅以上の会員にもご応募いただけることを期待しております。先端的研究や独創的研究をはじめとする、魅力ある自由論題のご応募をお待ちしております。

3 応募資格

自由論題の報告者および自由企画の報告者・討論者・司会者は会員に限ります。ただし、入会申込書を事務委託先に提出した非会員は、会員資格が発生する前でも応募することができます。非会員を含む応募については、入会申込書を事務委託先に提出済みであることを明記してください。

※ 本学会では、同一会員による複数回の報告を認めておりません。ただし、分科会企画で報告される予定の方でも、自由企画の共同報告であれば、1回まで応募を認めます。

※※ ここでいう「報告者」とは「研究大会において登壇する者」を指し、報告ペーパーの筆頭著者と報告者が本学会員であれば、ペーパーの共著者に非会員を含む場合でも報告を認めます。

4 使用言語

自由企画・自由論題ともに、ペーパーと発表で使用するのは、日本語または英語とします。ペーパーのみ英語、発表は日本語でも差し支えありませんが、発表を英語で行う場合にはペーパーも英語としてください。ペーパーを英語で提出される場合、その報告タイトルは英文としてください。発表を英語で行う場合には、プログラムにその旨を記載しますので、応募段階でお知らせください。

5 応募方法

自由企画・自由論題いずれに応募される場合にも、内容のレジュメ（A4用紙1枚程度、ワードファイルもしくはテキストファイルにて作成）を、2023年12月20日（水）までに、下記宛に電子メールの添付書類としてお送りください。

応募先：企画委員長 外山文子 E-Mail：toyama.ayako.fw@u.tsukuba.ac.jp

自由企画・自由論題の応募それぞれにつき、企画委員会において採否を決定の上、お知らせいたします。開催校施設等の問題でセッション数に制約があるため、ご希望に添えないことがある旨、あらかじめご了承ください。また応募が採択された際には、報告用のペーパーを所定の期限までに必ず提出していただくよう、お願いいたします。なお、自由企画・自由論題ともに、応募以降に報告タイトルを変更することはできません。自由企画の共同報告の場合には、応募以降、著者の構成・順番の変更もできません。また、採択された場合、筆頭著者が報告を行ってください。

自由企画につきましては、企画委員会から若干の変更などをお願いする場合があります。自由論題につきましては、テーマや採択数を考慮して、企画委員会でセッションの組み方、司会者、討論者などを決めさせていただきます。

なお、皆様の企画のご参考に供するために、企画委員会企画の内容について、10月28日（土）の理事会で決定後、準備が整い次第、学会ウェブサイトに掲載する予定です。

企画委員会委員長 外山文子

事務局からのお知らせ

1. 会員情報の変更や入退会のご希望、会費納入、年報・ニュースレター送付に関するお問い合わせは、中西印刷（株）にお問い合わせください。
2. 異動等による登録情報の変更は、学会ホームページのオンライン会員情報システムから行うことができます。大会関係等の重要な案内はメーリングリストや同システムを通じて行われますので、登録情報更新へのご協力をお願いいたします。
3. 会費の支払いは、原則としてクレジットカード払いに移行することになっております。ただし、ご事情によってご自身で郵便局にある振込用紙にご記入頂いて振込いただくことも可能です。詳細は事務委託先の中西印刷（株）にお問い合わせ下さい。

[事務委託先]

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

中西印刷株式会社 学会部 日本比較政治学会事務支局

TEL | 075-415-3661 FAX | 075-415-3662

E-mail | jacp■nacoss.com (■を@に変更の上、ご送信下さい)

日本比較政治学会ニュースレター 第51号 2023年10月

日本比較政治学会 Japan Association for Comparative Politics

〒108-8345

東京都港区三田2丁目15-45 慶応大学法学部・粕谷祐子研究室

日本比較政治学会事務局

Email : jacp■jacpnet.org (■を@に変更の上、ご送信下さい)

ホームページ : <https://www.jacpnet.org/>